

丸め方式の考え方

就業時間数の計算方法には次の2つの端数処理法があります。

- ① 時刻丸めは1時間を計算単位で割った時、端数を出勤では切り上げ、退勤では切り捨てる。(時刻固定)
- ② 時数丸めは退勤時刻から出勤時刻を引いた時数を計算単位で割った端数を切り捨てる。(時刻変動)



- ・ 時刻丸めは両端、時数丸めは片端で単数処理されるので、比べると計算単位分（例は15分）の差が生じます。

a. 出退勤を入場、出場管理したい場合→時刻丸め

b. 入退場の時刻より実就業時数を重視したい場合→時数丸め

どちらの計算法が妥当かは、就業規定により約定されている計算方法で決定してください。